

# 平和を創る若者を支援する

平和教育のこれまでの様々な実践を継承し、更なる発展を考えるために学習会・懇談会を実施いたします。  
平和教育の課題と実践例を学び、情報交換をしてネットワークを作りましょう。  
私たちの平和な未来を創る方法を一緒に考えてみませんか。

日時：2013年7月7日(日)13:00～17:30 開場 12:30  
会場：ゆいぽーと広島市男女共同参画推進センター 研修室2・3  
〒730-0051 広島市中区大手町5丁目6番9号 [TEL]082-248-3320

## 【日程】

- 13:00～13:50 二井理江さん「中国新聞ジュニアライターの活動支援について」  
14:00～14:50 澤野重雄さん「高校生平和ゼミナール等の活動支援と高校での平和教育実践」  
15:00～16:30 竹内久顕さん「平和教育の”遺産”を掘り起こし、発展させるために」  
16:45～17:25 平和教育についての情報交換懇談会  
(当日の感想・関連する話題・他の平和教育関係の行事や書籍など)  
17:25～17:30 主催者挨拶・次回予告など

資料代：500円（当日会場で受付いたします）

主催：平和教育地球キャンペーン中四国支部 <http://gcpej.jimdo.com/>

問い合わせ先：平和教育地球キャンペーン中四国支部事務局 赤松敦子

email: [peacemessagestakamori@yahoo.co.jp](mailto:peacemessagestakamori@yahoo.co.jp) tel: 090-6833-6764



平和教育地球キャンペーン

## 講師紹介：

### 二井理江

1994年4月中国新聞社入社。報道部、経済部、徳山支局、三次支局などを経て、2009年10月から総合編集本部ヒロシマ平和メディアセンター。原爆、平和関連の報道をするとともに、10代の子ども記者「ジュニアライター」を担当する。「ジュニアライター」は新聞記事のための取材をするだけでなく、「ピースマイル・フェスタ」のような平和のためのイベントも企画開催している。広島市南区出身。

ジュニアライター通信：[http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/index.php?topic=Junior\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/index.php?topic=Junior_ja)

### 澤野重男

1947年京都市生まれ。1973年～2008年安田女子高等学校教諭。平和・国際教育研究会事務局次長、広島高校生平和ゼミナール世話人、世界の子どもの平和像(せこへい)ヒロシマ事務局長、ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト世話人 著書：『世界史をつくる子どもたち—平和・人権学習のすすめ』、『ヒロシマ希望の未来—核兵器のない世界のために』、『観光コースでない広島—被害と加害の歴史の現場を歩く』(共著)

### 竹内久顕

東京女子大学准教授。専門は平和教育研究。大学・大学院での指導のほか、日本平和学会理事(平和教育分科会責任者)、武蔵野市平和施策懇談会委員(2010年度)などを務める。また、平和教育学研究会を立ち上げ、平和教育の実践と研究の全国的ネットワークづくりを試みている。著書・論文に、『平和教育を問い直す』(編著)、『平和学を学ぶ人のために』(共著)など多数。

## 平和教育に関するアンケート（予備）調査

平和教育地球キャンペーンは 1999 年にハーグで開かれた市民による平和会議で、平和教育がきわめて重要とされたのを受けて活動をはじめました。国連が定めた平和の文化の推進との連携をはじめ、世界各地で展開される平和教育をつなげるよう尽力しています。

昨年、IIPE（国際平和教育研究集会）が日本で開かれたのを契機に、日本各地で平和教育に関する集まりをもつような試みもささやかながらはじめました。広島集まりには、小中高校で長年実践されてきた先生方や、また留学生への平和教育、開発教育や NGO や平和構築の実務家のためのトレーニングに関心を持つ方が参加されました。

平和教育をさらにひろげるために、これまでの経験を集成したらよいということから、平和教育の経験や教材、資料館や博物館などの施設を活用した取り組み、また研修のあり方、困難点などを以下のフォームをもちいてうかがうことになりました。ご自身でご回答いただくとともにお知らせや団体にご紹介いただけたら、ありがたいです。

内容は、この 7 月にプエルトリコでひらかれる IIPE（国際平和教育研究集会）で報告させていただくとともに、当団体のウェブページで公開させていただきます。項目については、今後、さらに精緻化させ、再度、調査を行いたいとも考えています。よろしくご協力ください。

なお、冒頭の個人情報については、この活動のみのものとし、取り扱いには慎重を期すとともに、上記の公開については、個人が特定できない形にいたします。

**CIPE** は「ここで/ここから、つながりをつくり、ともに、つくる」場です。このとりくみは CIPE の一環です。

### < 1 > ここで/ここから

地域の人びと（当事者）が集い、交流し、ワークショップなどによってすでにあるものを出しあい、成果にもとづいて、対話をおこなう。

### < 2 > つながり（を）

フォーラムとして、講演会あるいはシンポジウムを実施し、知見をひろげる。

### < 3 > とともに

関連領域（環境や人権、国際理解教育など）や他の地域の団体との連携をすすめる。

### < 4 > つくる

地域ならびに関連領域ともあわせて、成果をウェブや出版物で公開するとともに、世界にも発信する。

[Google ドライブのフォーム](#)・ウィジェット次ページ

[https://docs.google.com/forms/d/1xnXS2gT4aIhj2ZgAwD-q\\_hsvvQ\\_IFSjEANK4b1V2\\_w0/viewform](https://docs.google.com/forms/d/1xnXS2gT4aIhj2ZgAwD-q_hsvvQ_IFSjEANK4b1V2_w0/viewform)

この文書が掲載されている平和教育地球キャンペーンのページ：<http://gcpej.jimdo.com/survey/>

アンケート記入ページ：<http://gcpej.jimdo.com/survey/q/>

ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：平和教育地球キャンペーン中四国支部

事務局 赤松敦子

[peacemessagestakamori@yahoo.co.jp](mailto:peacemessagestakamori@yahoo.co.jp)